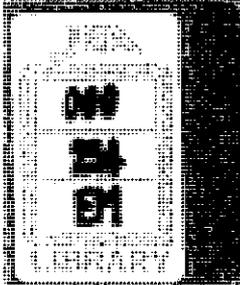


大分県立
図書館

移住者輸送引本目の手引き

三訂版



大分県立図書館

国際協力事業団

受入
月日 84.8.20

000

登録No. 13135

234

EM

はじめに

昭和48年4月から移住者の輸送が航空機によって行われることになり、引率員の業務内容も、従来の船舶による輸送の場合と異なるものとなった。

よって、現行の「移住者輸送引率員執務心得」(昭和42年7月業務資料版004)を廃止し、新たに航空機輸送引率のための心得としてこの手引きを作成した。

引率業務上必要な事項はほぼ網羅したので、活用願いたい。

昭和48年11月

総務部長 永田良三

JICA LIBRARY



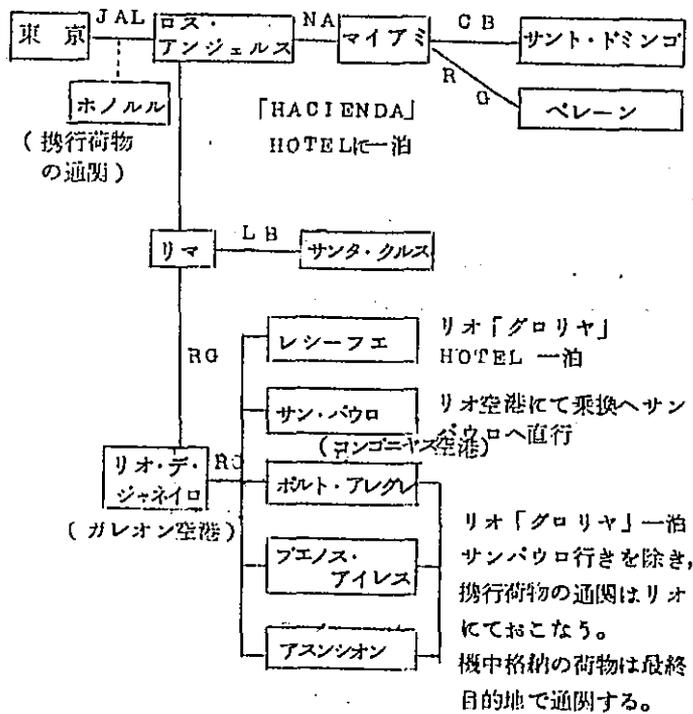
1023927[5]

目 次

移住者の輸送・ルート	4
1. 海外移住センターにおける業務	5
(1) 各種カードの作成	
(2) 外貨交換	
(3) 引継書類	
(4) 航空手荷物	
(5) 班編成	
(6) 出 発	
2. 羽田空港	6
(1) 空港内	
(2) 免税品金額	
(3) 機内にて	
(4) 港内見取図	
3. ホノルル	9
4. ロス・アンジェルス	9
5. リ マ	10
6. リオ・デ・ジャネイロ(ガレオン空港)	10
7. サン・パウロ(コンゴニヤス空港)	11
補足参考事項	12

1. ロス・アンジェルス	12
(1) 出入国について	
(2) 携行荷物について	
(3) ホテルの状況	
(4) 事故発生時の連絡方法	
(5) 治安状況	
(6) 出園手続	
(7) ロス概況	
2. リオ・デ・ジャネイロ	14
(1) C I Q (税関, 出入国, 検疫) の流れ	
(2) 通関状況	
(3) 税金支払方法	
(4) 取扱手数料	
(5) 搬出状況 (携行荷物)	
(6) 宿泊所	
(7) その他	
3. サン・パウロ	18
(1) C I Q の流れ	
(2) 通関状況	
(3) 税金支払場所	

移住者の輸送ルート



航空会社略号：

JAL	JAPAN AIR LINES
RG	VARI G
NA	NATIONAL AIRLINES
CB	GARIB AIRLINES
LB	LLOYD AEREO BOLIVIANO

1. 海外移住センターにおける業務

移住者引率員は出発2日前の午後1時までセンターに入所し、移住者氏名、数、移住先等の確認をする。

(1) 各種カードの作成

外国へ出発するためには、それぞれの国の出入国カードが必要である。

- 日本出国時の出国カード
- アメリカ入国カード及び手荷物申告書の作成
- ブラジル入国カード及び手荷物申告カード
- アルゼンチン等ブラジル以外へ行く場合は、ブラジル出国カード及びアルゼンチン等の入国カードと手荷物申告書等を作成。

(2) 外貨交換

出発の前日移住センター指定の銀行が移住者のために出張してくるので引率員も交換するとよい。

外貨の持ち出しは1人3,000\$, 日本円は10万円まで

(3) 引継書類

引率員は移住センター（渡航課担当）から移住者の関係書類。ブラジルの場合……レントゲン写真、念書、申込書（代理通関）、謄本（労働手帳取得用）、その他全員の在留届、謄本、航空切符、パッチ（ネーム入り）等を一括引継ぐ（出発前日）

(4) 航空手荷物

無料手荷物は1人に付20kgまでである。（機内格納）身の廻り品で制限量に関係のない無計量の手荷物はつぎのとおりである。

婦人用ハンドバック又は書類入（但し大きいものは不可）1個

オーバー又はコート類 1着
ヒザ掛 1枚, 洋がさ, ステッキ類 1本
小型カメラ, 双眼鏡 各1個
機内の読物, 幼児用の食べ物若干, その他計量後の小型カバン1個

上記手荷物の計量は出発当日午前中に日本航空係員がセンターにて行なう。又チェックイン手続きも同時に完了する。

(5) 班編成

引率員は引率業務を容易にし又移住者の把握を容易にするため、人数に応じ班を編成する。

(6) 出発

出発当日移住者に対し塔乗に関する最後の説明会を行なう。(旅行保険証券, 識別用ワッペン配布等)ひきつゞき, 社行式が行なわれるが, 終了後羽田よりリムジンバスが到着し手荷物をチェックのうえ, (本人立合)積込み, 人員確認後羽田へ出発する。

2. 羽田空港

(1) 空港内

センターより羽田へ到着すると, 移住者は空港内特別待合室にて塔乗案内があるまで待機する。

その間機内持込み手荷物は一ヶ所にまとめ置き, 一旦解散し集合時間までそれぞれ用を済ましておく。

再集合後商船航空サービス(株)係員により, 旅券, 塔乗カード等を各人に手交(塔乗カードは胸ポケットに)機内持込み荷物で果物ナイフやカミソリなど刃物類を持っているものは申告させること。

出発一時間前, 第一班より次々にC. I. Q (Customs, Immigration, Quarantine の略)開始。

空港警察による手荷物検査、検査確認、税関、出国認証の順序でおこなわれる。

最後の Immigration では各人毎にパスポートと出国カードの提示証印(スタンプ)を受け、出国及び搭乗手続き一切が終了する。

(2) 免税品金額

免税品金額(例)

たばこ	ハイライト(10ヶ入)	450円	市価	800円
	こはく(#)	550		1,300
酒類	ジュニウオーカー黒	1,800		6,500
香水	ミスディオール(700)	2,790		7,200
	タブー(#)	1,440		3,000

(3) 機内にて

搭乗すると手荷物は自分の座席の下に置くこと。

引率員は座席配置図に従い移住者の確認をする。

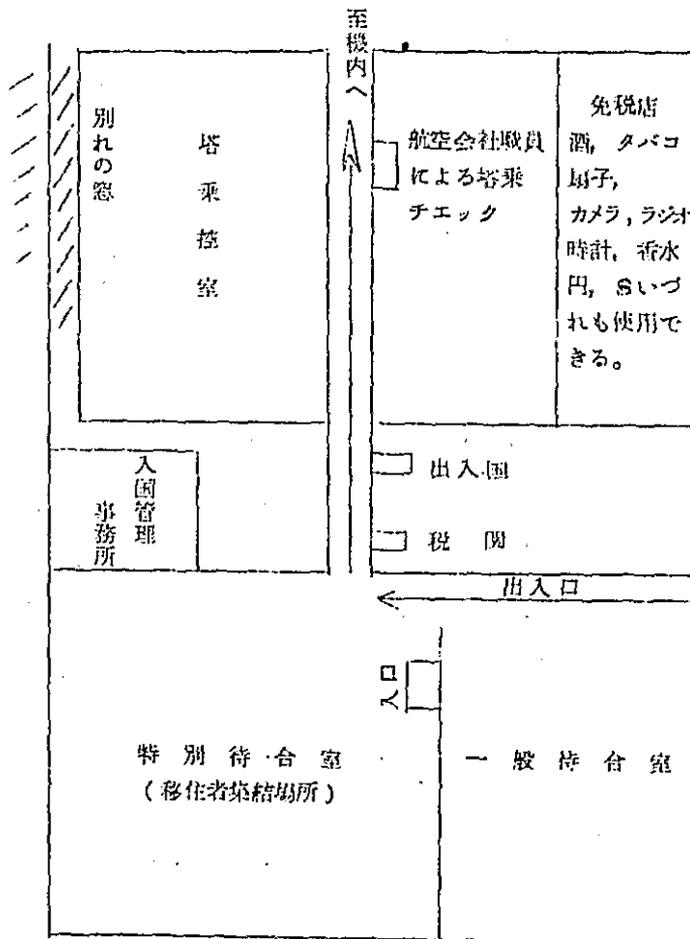
移住者を含め、その他の乗客が座席に落着いた頃、スチュワーデスにより、救命胴衣、酸素マスクの使用法について実演説明あり。

機内での、ラジオの使用は電波障害をおこすので禁止されている。

機内には各種新聞、週刊、月刊雑誌、イヤホンによるサービス(ミュージック、落語)、映画(ホノルル〜ロス間)がある。

その他、洗面用具、タオル、乳児食、離乳食、乳児用カゴ、紙オムツ等完備している。

(4) 構内見取図



3. ホノルル

午後9:30分羽田を飛び立ち、6時間45分にてホノルル到着。(時差5時間、同日の午前9:40分)

日航現地職員の出迎えを受けバスにて通過客専用ターミナルへ。ここで入国手続、検疫、荷物検査を受ける。所要時間は約1時間。手荷物はハイジャック防止のため探知機で厳重に行なうが、機内倉庫に格納のトランク類はフタを開けるだけで中身は殆んど検査しない。只し旅行者が多いので入国手続の際は乳幼児同伴家族移住者を最優先させるべく配慮しなければならない。

日本航空提供のワッペン是一般客との識別を容易にし、C.I.Q.の手続きも有利におこなわれる。

ホノルル到着後2時間待合せのうえロスへ出発する。所要時間4時間35分(時差3時間)午後7時50分ロス空港へ到着する。

4. ロスアンジェルス

日本航空職員及び当団ロス駐在員の出迎え誘導のもとにホテル専用バスで「HOTEL HACIENDA」へ。

空港から約10分、たどちにホテルでチェックイン、部屋割り、夕食は別棟の食堂で全員一室に席をもうけ食事をする。(引率員は1人当25セントのホテルチップ料を徴収しロス駐在員に托し、ホテルマネージャーへ駐在員と共に挨拶に行く)

夜は時差による睡眠不足、旅疲れのため早目に就寝する方がよい。

翌日は朝食後、VARIO塔乗手続き、チェックインの為、移住者の旅券を回収し、駐在員は空港へ向う。

午前中自由時間のため、移住者は希望者のみ、バスにて観光することができる。

バス代は1人約3\$所要時間約4時間、ハリウッドサンセット通り、ファーマーズマーケット等、見物できる。観光後は空港に直行する。

又、バスにて市内観光する者は、センター入所中に確定数を把握し、申込者より料金を事前に徴収しておく必要がある。

なお、レンタカーを借用しての個人行動は禁止している。

空港附近およびホテルの近くはshoppingの場所がなくダウンタウンまでいかななくてはならないが、29kmもあり、短時間では無理である。

(バス代空港→ダウンタウン、メイクラワ-ホテル前まで1.25\$)

(タクシーでは約10\$) 約40分

市内観光しないホテル待機者は、午後(昼食後)VARIO係員の誘導によりバスにて空港へ向う。

バリエ機に乗る際、機内持込荷物が1個に制限されるので羽田出発の時に事前に縮小するよう指導すべきである。

ベレーン行き移住者は便待ちのため更に一泊する。

空港へ到着すると塔乗ゲート前で待機、その間に国旗(日・伯、日・亜、日・芭、)のワッペン配布。

5. リマ 空港

ロスよりリマ到着まで所要時間8時間(時差2時間)

通過客待合室で小休止、売店はペルー産銀製のスプーン、ペンダント、指輪、ネクタイピン等取揃えている。

約50分の給油のための待合せであるため、出発時刻におくれないように注意が必要である。

6. リオ・デ・ジャネイロ(ガレオン空港)

リマよりガレオン到着まで所要時間3時間45分(時差2時間)

リオ上陸者とサンパウロ行き移住者は別々のバスに分乗する。

リオではVARIO係員の誘導で通関、リオ支部職員によりホテル(グロリア)への案内等をうける。

7. サン・パウロ(コンゴニヤス空港)

リオのカレオン空港よりサンパウロまで所要時間は50分。

以上が大体の引率内容の概略であるが、補足参考事項として中継地状況と税関状況とをつぎのとおり追加する。

補足参考事項

1. ロス・アン・ジェルズ

(1) 出入国について

ロスにおける移住者輸送業務については、出関手続きのみでロス空港が単なる通過地であるため、携行荷物の通関手続きおよび書類等の提出すべきものは一切ない。(入国カードの提出はホノルル)

移住者の通関は最初の寄港地ホノルルでおこなはれる。

アメリカの通関は植物検疫の検査を除いてそれ程きびしくない。荷物の中身を簡単にみるだけである。

只し、ハイジャック防止のための検査がきびしい。

例へば日航でホノルル、ロスへ到着しVAHIG航空乗換えの場合は大体簡単であるが、ロスからマイアミへ行く場合、アメリカの航空機を使う場合は「アメリカ連邦局」の通関によりきびしい。

他国の航空機利用の場合は連邦局の管轄外であるため簡単である。

(2) 携行荷物について

移住者の荷物でそれが高価なものであっても身の残り品であれば、アメリカは単なる経由地であるため問題はない。

只し、商売の目的のため持っていく場合は保税申請書類(アメリカ以外の国へもっていく為の無税扱)を航空会社で作成してもらうことが必要である。

ロスで一泊する場合、携行荷物はそのままJALの倉庫に保管し、翌日それぞれの利用航空会社に引継がれるので移住者は何もすることはない。ただし荷札には日本出発時、移住先の住所を記入しておくことが必要である。

(3) ホテルの状況

「HOTEL HACIENDA」は、空港より1.5 km 車で約10分。

ホテルの付近は娯楽施設もなく、ダウンタウンに通じる大通りに面した静かなところである。

ホテルは空港に近いせいか観光客が多い。

部屋はシャワー付で中庭にプールをはさんで部屋がある。

別棟に24時間営業のレストランがあり、日本語のメニューも取揃えてある。

(4) 事故発生時の連絡方法

アメリカは日本のように交番がなくパトロールの警官に頼らざるをえないが、盗難、紛失等の事故があった場合は日本領事館へ届けるのが一番いい方法である。

(5) 治安状況

ホテル～空港付近は環境もよいが、ダウンタウンはよくないので外出は禁止した方がよい。

狙われやすいのは、年寄りの人が多いが、若い人でも出歩かない方がよい。

(6) 出国手続

空港の各航空会社のカウンターは出発1時間前より搭乗手続きを開始する。

空港内には待合室が2～3ヶ所、免税店もあり自由に利用できる。

(7) ロス概況

ロスでの通関はないため、乗継ぎその他荷物の積替えのみがロスでの主な問題であるが、移住者が到着して出発するまで、月航ならびにVARIOの係官がアテンドしてくれるので引率員はロスの駐在員及び航空会社の職員の指示に従えばよい。

ダウンタウンは空港よりバス1S 25C約40分、タクシーで10S約25分メイフラワーホテル前で下車。この付近は限

やかなところで約 20 分歩くとリトル東京（日系人）の町があるが、行く途中に黒人街を通ることを注意すべきで、一人歩きや夜の外出は禁止した方がよい。

2. リオ・デ・ジャネイロ（ガレオン空港）

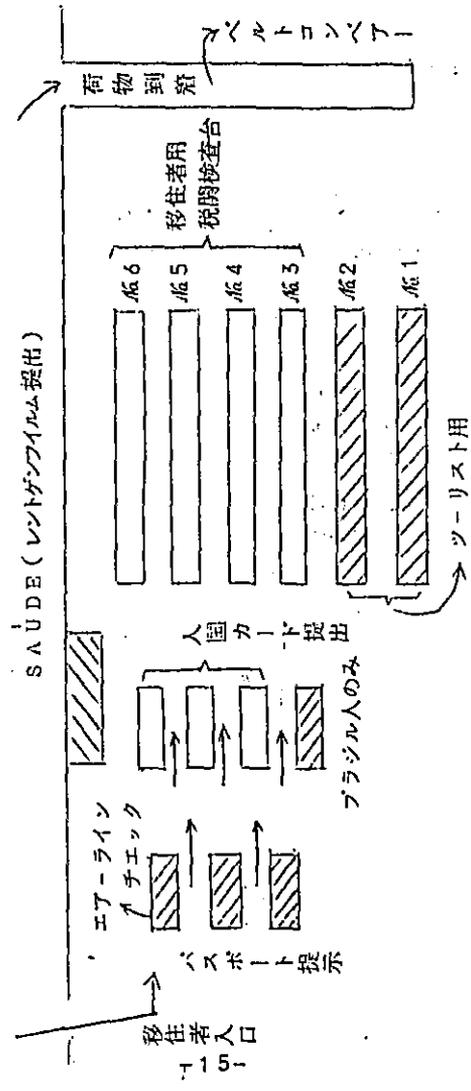
リオ到着前に機内にて入国カード荷物申告書が配布されるが、ブラジル入国のための上記書類は既に日本出発前に記入しているので問題ない。

(1) C I O（税関、出入国、検査）の流れ

図解のとおり第一にパスポートの簡単なチェックがあり次に入国のチェックがある。

移住者はパスポートを提示し係官の検査がすむと入国が許可され次に税関検査である。

ベルトコンベアで運ばれた自分の荷物を検査台のうえにおき通関検査をうける。



(2) 通関状況

関税率は非常に高い。

ブラジルには電気製品、衣料品なんでも揃っており、テレビ等の月賦販売も月々3,000円位からの分割支払いで販売されている。

高い運賃をかけて携行しても一旦、故障した場合は修理代が高く第一に部品が少ない。ブラジル製はその点修理費用が非常に安く、出きる限りブラジル製を購入した方がよい。

移住者の携行荷物の制限量は20kgでそれ以上の荷物は高い運賃を支払ってまで携行する必要はない。

ただし、どうしても携行する場合は、在横浜総領事の引越証明を2通(別送と、携行分)持参すると可成り当局の配慮が受けられる。

しかし、これはあくまでも中古品に限り新品の場合は課税対象となる。又一家族にラジオ、テレビ、カメラ等各々1台がお互い無税で2台あれば引越証明があっても課税される。

課税(例)

ラジオ	申告値段の	135%	} 税関備付課税率一覽表より抜粋 (サンパウロ税関も同じ)
テレビ	#	#	
カメラ	#	60%	
映写機	# スライド	36%	
	8 m/m	65%	

持込不可のもの

- ◎ 銃機類 この検査は陸軍省の管轄であるので非常にきびしい。
- ◎ 風俗をみだすもの
- ◎ その他の持込み禁止物品については特に例示されていないが、

衣料品、食糧品その他若干ならよいだろうのことであり、移住者という特殊事情から勘案して常識的な携行品であれば問題なく無税で通関できる見通しである。

(3) 税金支払方法

税関員が課税対象物品について金額を記入する。支払い場所は税関内にあり、移住者が検査をうけ荷物を受取るまで自分で記入する書類等は一切ない。

◎ 両替 検査場内にあり一目でわかる。

◎ 税金支払方法 S, CrS 両方可能

リオ・デ・ジャネイロ入国に始まり、税関検査終了まで移住者が作成する書類は何もない。移住者が用意するのは、入国カード、荷物申告書、引越証明書を持参するだけでよい。

引越証明書は携行、別送共内容を正確に記入すること。

(4) 取扱手数料

税関検査場内では何もない。只し場外でポーターに荷物を運搬させた場合のみ、1個に付CrS(約50円)支払へばよい。自分で運んでもよろしい。

(5) 搬出状況(携行荷物)

ブラグアイ国等他へ持って行く荷物は税関内の小さな倉庫に入れる。この倉庫は非常に小さく主に課税対象物品で税金を払わず引きとりに来ない人の荷物の保管場所であるので、移住者が一人20kgの範囲内で持って来た荷物の中、ブラジルでおろせば課税される高価なものだけを別個にして(日本出発時に別梱包しておく)預けるとよい。

(6) 宿泊所

乗継時間の関係上、移住者が一泊するためのホテルは、パリグ指定の「グロリア」という名のホテルである。

ガレオン空港よりバスで約40分コバカバーナ海岸にある白い建物で仲々立派なホテルである。(コーヒーショップ、日本

人経営のおみやげ店もある。)

グロリアホテルまでの送迎は支部職員が引率する。又、税関内での検査立合い(通訳)等はVARIG係員によりおこなはれる。(ただし、税金を安くしてもらったりすることはできない)

(7) その他

リオでの上陸通関にあたり移住者自身が作成する書類はなく税関側説明では通関は非常に友好的でスムーズに行なわれるとのことである。

しかし、これまでにもブラジルではケースバイケースで処理される事項が多く、何よりも「引越証明書」の認証したものを持参することが重要である。

3. サンパウロ(コンゴニヤス空港)

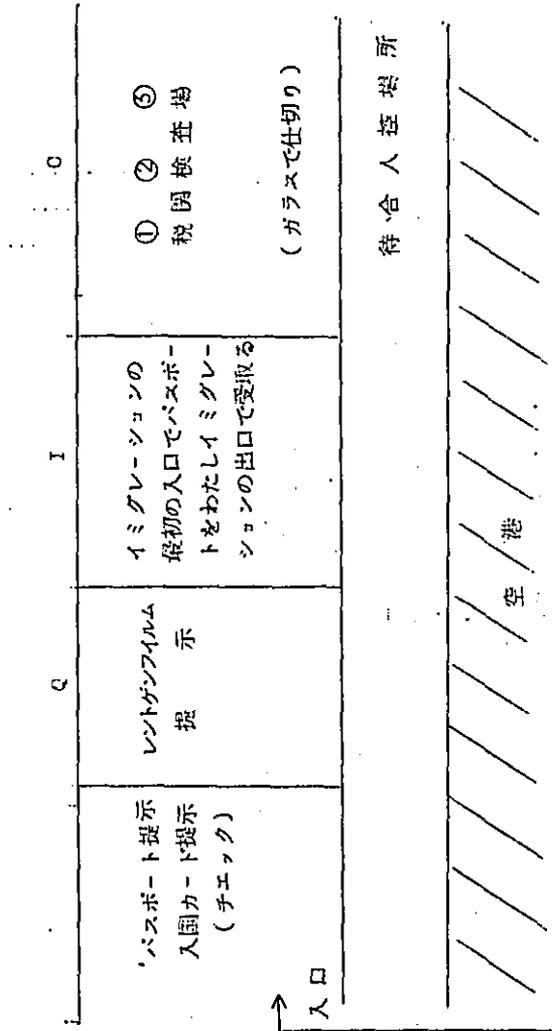
(1) CIQの流れ

空港税関内業務は支部職員とVARIG航空職員が立入り、移住者の到着とともに通関の立ち合い通訳等に全面的にバックアップする。

通関はリオと同じく、引越証明内容記載の物品と照合しながら検査をする。携行荷物にしても別送荷物にしても携行の範囲内であれば無税でとおること。

引越証明書はリストもれのないよう注意して作成すべきである。

荷物料金は機内より検査場までは無料運搬で、税関内より外に出す場合はポーターを使ってもよいし自分で運搬してもよい。ポーター使用の場合は1個に付1 Cr\$ (50円)



(2) 通関状況

輸入税, IPI (工業製品税) が申告値段に対して付課される。

(例) 拡声機の場合 135% (輸入税)

申告値段 (3000) A

(1) 輸入税 135% × A = B

(2) 工業製品税 (A + B) × 10% = C

税金 = B + C (税関員より聴取)

リオ・デ・ジャネイロ税関と同じ	テーブ	{	37% (輸入税)
	レコーダー	{	24% (工業製品税)
	映写機	{	37%
			18%
	カメラ	{	55%
			18%
	撮影機	{	45%
			18%
	スライド	{	15%
			18%
	電子計算機	{	30%
			18%
ラジオ、TV	{	135%	
		20%	
テーブ	{	85%	
カーステレオ	{	22%	

(3) 税金支払場所

VARIQ 航空カウンターの隣が銀行であり、税関員より納付書をもったら銀行で支払い領収書を税関員にわたし荷物を受取る。税関検査には荷物申告書と Bons (領事認証書) を必ず提示する。

